

広報

県遊協

山形県遊技業組合  
TEL 023-615-6922  
FAX 023-615-6923  
yamagata@zennichiyure.n.or.jp



井上理事長  
年頭のあいさつ



あけましておめでとうございます。皆様のご協力、力添えのお陰で、4支部体制も軌道に乗り組合活動の情報の一元化も順調に進んでおります。そのような中で、昨年春に大変大きな問題が発生してしま

いました。パチンコにおいては、保通協を通った検定機と性能の違う台が市場に大量に出回っているのではないかとこの衝撃的な問題が発覚しました。パチンコにおいても、サブ基盤に不正が多発しているのが、今後はサブ基盤を使用しないという規制が出てしまいました。パチンコについては、ある程度予測された規制でしたので、パチンコ台の方に期待が大きくなってきていた最中のパチンコ機問題でした。全く予想もしていなかった検定機と異なる性能の機械発売をメーカーが長年にわたって続けてきたのではないかとこの青天の霹靂の事態に業界は天地をひっくり返したような大騒ぎになってしまいました。全日遊連では、いち早く対策を打ち出し、パチンコの対象機種は今年中(平成28年末)全台の30%以下、29年末には20%以下にすることを、パチンコ対象機種は、今年中(平成28年末)全台の50%以下、29年末に30%以下にするという全国理事会決議を行っており、粛々と実施に移していく予定であります。ホール5団体とも基本合意して対策を進めております。警察庁も概ねこの対策に理解を示してくれていると思えます。日工組とは、協議を重ねておりますが、最終合意には至っておりません。そもその原因は日工組にあり、他の業界の製品の場合は当然リコールに該当することになり、車社会におけるフォルクスワーゲン問題等と同じだと言わなければなりません。全台メーカーが責

任を持つて処理しなければならぬ問題だと思っております。但し、ホール側としても現在営業に使用しているという風営法上の問題は存在するかも知れません。私としてもホールの受け入れ易い対応策や、撤去に伴う引き取り価格等しつかり提示して頂くべきだと思っております。メーカーの対応策が遅れたり誠意のない対応策だったり、ホールの撤去が進まない状況に陥ったときは第2第3の規制が出てくるかもしれません。この最悪の事態だけは避けなければなりません。このような状況に陥ったときはパチンコファンへの減少に歯止めがかからなくなり、業界の存亡にも関わることでろうと危惧しております。ファンの減少に歯止めをかけて、一人でも多くの新規客の増加・休眠客の再プレイを目指すためには、今回の問題に伴い規制が強化されるベース値等にもしつかり対応した遊べる機械でありながら、魅力ある機械の開発に一丸となって取り組んで頂きたいと思っております。消費税の10%への移行も1年半延びましたが、いよいよ来年(平成29年)4月が近づいてきています。カジノ法案の審議も審議が延び延びになっており、それに関連して業界への色々な規制の強化という悪影響も目立ち始めてきています。パチンコ・パチスロの遊技客は一時的に若干参加人口が回復してきているように見えますが、中期的・長期的に見れば参加人口の減少に歯止めがかからない危機的状況にあります。ホール・メーカー・関連業界団体が一致協力して業界の問題点をしつかり洗い出し、真摯に議論を重ね、中長期戦略をしつかり立て、新しいお客様・一度パチンコを離れてしまった休眠中のお客様の獲得に業界一丸となって進んでいかなければ、業界存亡の危機が目の前に迫ってきていると感じています。これらの取り組みに今年も組合員皆さんの更なるご協力をお願いして年頭のご挨拶としたいと思います。今年も一年よろしくお祈りいたします。

平成28年新春 年頭所感

全日遊連理事長 阿部 恭久



新年あけましておめでとうございます。皆様方には、益々ご健勝で輝かしい平成二八年の新春を迎えられたことを心からお慶び申し上げます。

ます。また、平素から、全日遊連の諸活動へのご支援、ご協力に対し厚くお礼申し上げます。さて、昨年は、業界における従来からの遊技環境の問題解決に向け、20年に一度と言われるほどの激動の年となりました。その対応策として、全日遊連では昨年6月に「新基準に該当しない遊技機の取扱について」の基本方針を決議しており、全国の組合員ホールにおかれては、現在も新基準に該当しない遊技機の段階的な撤去に向け粛々と取り組んでいただいているところであります。本件決議に当たっては、皆様に深いご理解とご支援を賜り、円滑に進めることが出来ました。この場をお借りしまして改めて感謝申し上げます。また、全日遊連の自主規制を受け、業界6団体でも「高射幸性遊技機の取扱についての合意書」を締結いたしました。市場にある高射幸性遊技機の優先的撤去についての問題意識を業界全体で共有することにより、更に取り組みの強化を目指してまいります。この点につきましてもご協力をお願いいたします。本年12月1日には、私たちホールが社会に対して明言した最初の設置比率の期限を迎えます。仮にこの約束を守ることが出来なかった場合は、私たちホール業者の信頼は失墜し、更に厳しい状況も余儀なくされることと思えます。どうか、組合員ホールにおかれては、期日に向け真摯に取り組んでいただき、約束の日を迎えた時、全てのホールが目標値に達成して頂けることを期待しております。次に「検定機と性能が異なる可能性のあるばちんこ遊技機の撤去について」であります。本件については、様々な噂や憶測が先行し、全国の組合員ホールに対して多大なるご心配をおかけしたことを認識しております。全日遊連といたしても、メーカー団体との交渉を粘り強く続けていく所存であります。メーカーに対しては、円滑な遊技機の回収と併せて、安心してホール店内に設置できる遊技機の開発を要請していくところでありますが、私たちホール業者も、より手軽に遊んでいただけの環境を一日も早く提供できるように、更に努力をしなければならぬと思っております。本件を、業界の軌道を修正する転機と捉え、



遊技環境をより良いものにし、お客様にも喜んでいただけるようにして参りたいと考えております。ばちんこ業界は、様々な問題を抱えたまま新年を迎えましたが、お客様に娯楽を提供すべき産業に従事する者の責任として、全日遊連のみならず業界団体各方面が一丸となって改善に向けて取り組み、今年こそ遊技業界の新たな一歩を踏み出したと考えております。結びにあたりまして、本年が遊技業界にとって明るい未来へ向けた転機の一年になるよう、ご支援、ご協力を重ねてお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。私からの年頭の挨拶とさせていただきます。

新年明けましておめでとうございます

昨年中は県遊協の運営にご協力いただき誠に有り難うございました。本年も宜しくお祈り申し上げます。平成二十八年 元旦



山形県遊技業協同組合  
理事長 井上 静夫  
外 役 職 員 一 同



いつも心に掛けていただいていた有り難うございます。今年も駐車場の巡回宜しくお祈りいたします。寒い折、風邪に注意して下さい。

編集後記

私たちの業界は、色々な課題を新年に持ち越したと思っております。高射幸性の遊技機の撤去・検定機と性能が異なる遊技機の回収などやるべきことが沢山あるのですが、その手順や方法が未解決のまま年を越しました。前者と後者の機械は多分に重なっているのです。前かがまだ分かっています。何はともあれ、組合員ホールの皆様、まずはいい年を迎えて元気に頑張りましょう。



熊坂